

電気学会東京支部電気学術奨励賞 電気学術女性活動奨励賞を受賞



電気学会は、榎本武揚
公を初代会長として18
88年に設立され130

博士前期課程1年

町田 恒介

博士前期課程1年

串田 弥音

年の歴史を持ち、日本の近代科学技術の発展に大きく貢献してきており、現在会員数約2万5千名のわが国有数の学会に発展している。群馬大学でも横塚勉名誉教授をはじめとする諸先輩、現在の佐藤守彦先生を群馬支所

長とした関係者のご尽力により電気学会の活動に協力し、また同学会から様々なご支援をうけてきている。
電気学会東京支部電気学術奨励賞、電気学術女性活動奨励賞は毎年それぞれ優秀な学業成績を修

めた関東地区の大学の電気系学部卒業生約50名程度に対して与えられる。

町田君と串田さんは、学業成績優秀および卒業研究の国際学会・国内学会発表が評価されての受賞となった。今回の受賞を励みにして2人の電気電子工学分野でのますますの研鑽を期待するとともに、電気学会の活動との連携を密にしながら本学のこの分野の研究教育のさらなるレベル向上を図っていきたい。

(文責：電子情報部門
教授 小林春夫)

IEEE TOWERSにおいて

Supporter's Group Awardを受賞

韓国にて開催されたStudent Paper Contestにおいて

Bronze Paper Awardを受賞

電気電子コース4年 阿部 優大



小林研究室所属の阿部君が、平成30年11月3日に慶應義塾大学で開催された「The 15th IEEE TOWERS(Transdisciplinary-Oriented Workshop for Emerging Researchers(若手研究者のための異分野学術交流ワークショップ))」においてポスター発表を行ない、IEEE TOWERS Supporter's Group Awardを受賞した。

IEEE OWERSは若手研究者交流の場として毎年開催され、今年で15年目を迎えている。毎年国内外から多くの学生、若手研究者、企業技術者が関東に集い、ポスター発表等により活発な議論が交わされる。今年は約100人が参加した。受賞内容は「剰余系を用いた周波数推定回路」に関する電子回路分野の研究成果である。高周波信号のサンプリング回路は実現が難しい。そこでヒルベルトフィルタ、周波数エイリアシングおよび中国の剰余定理を利用ことによって、複数の低周波クロックサンプリング回路から高周波入力信号周波数を推定する方式を提案した。

TOWERSでの受賞により、11月24日に韓国ソウル市の弘益大学で開催された「IEEE Seoul Section Student Paper Contest」に招待されポスター発表を行い、Bronze Paper Awardを受賞した。Student Paper ContestはIEEE Seoul Sectionで毎年開催され、学生の科学技術論文発表を促進している。今年は30件の口頭発表と7件のポスター発表がなされた。

なお、この阿部君の発表内容は数学的アルゴリズムと電子回路設計の両方に関与するものであり、8月26日に栃木県佐野市で開催された「第14回全国和算研究会」でも発表し、和算研究者間でも好評を博し有益なコメントをいただいた。



アナログ検定2018で
第一位に輝く



電子情報部門 研究員
築地 伸和

アナログ検定は平成23年度から実施されており、今回で8回目の開催となる。この検定はアナログ回路技術分野の理解度を統一的指標で測るテストであり、アナログ回路基礎に関する設問(30問)を五者択一方式で解答する。試験時間は1時間、配点は1問10点で300点が満点である。なお、アナログ検定の主催は群馬県ア

ナログ関連企業連絡協議会、共催は群馬大学、後援は首都圏北部4大学連合(4U)である。

アナログ検定2018には群馬県を中心とするアナログ関連企業の技術者や大学生ら計46名が受検し、今回の平均点は139点であった。これらの参加者の中で築地氏が最高点の250点を獲得し、産業界の実務で鍛えられたベテラン技術者/エース技術者、大学の俊英達を抑え見事第一位に輝いた。群馬大学のアナログ関連分野の研究教育のレベルの高さ、人材の豊富さの一端を対外的にアピールしたものと見える。

集積回路とデバイス技術分野の国際会議において

Excellent Student Paperを受賞

博士後期課程2年 **孫 逸菲**

平成30年10月31日~11月4日の期間に中国で開催された「2018 IEEE 14th International Conference on Solid-State and Integrated Circuit Technology and Technology (ICSICT2018)」において孫さんが口頭発表を行い、「Excellent Student Paper」を受賞した。ICSICTは米国電気学会(IEEE)主催の中国で開催される集積回路とデ



発表があった。参加者は中国を中心に欧米、日本を含めた全世界からである。

受賞内容は「DC-DC電源におけるパルスコーディングを用いたスイッチングノイズ周波数拡散技術での、ノイズ拡散しない帯域を自動生成する方式に関する研究成果である。スイッチングノイズの周波数拡散によるEMI低減技術と低ノイズ信号帯域の両立を実現し、この低ノイズ信号帯域の選択を自動的に行える方式の提案を行った。この研究は小堀康功客員教授の指導により行われた。

この会議には群馬大学から大学院生と教員の計18名が参加し、3件の招待論文、10件のレギュラ―論文の口頭発表を行った。



電気学会栃木・群馬支所合同研究発表会

優秀論文発表賞を受賞

平成30年3月1日～2日に群馬大学桐生キャンパスにおいて第8回電気学会東京支部
栃木・群馬支所合同研究発表会が開催された。大学や高専などから2日間で195名の
参加があり、100件の論文が発表され、活発に質疑討論が行われた。100件の発表か
ら17件の優秀論文発表賞が選出され、群馬大学から以下の9名が受賞した。



◀ 藤村君
千嶋君
高橋さん
左から飯野君

◀ 町田君
佐藤さん
新井君
左から久保君

- ◆博士前期課程2年 柳田 朋則
「ATAC回路を用いた磁界結合型ワイヤレス送電システムの磁界高調波抑制技術」
- ◆博士前期課程1年 飯野 和樹
「加振レーダ法によるコンクリート内振動変位の弾性係数依存性の検討」
- ◆博士前期課程1年 高橋 莉乃
「ドレイン抵抗劣化の新モデルを用いたLDMOS信頼性シミュレーションの提案」
- ◆博士前期課程1年 千嶋 諒
「RFケーブルの影響を除いた無線結合デバイスの測定法」
- ◆博士前期課程1年 藤村 悠
「車両とEPSシステムにおける横風外乱とパラメータ変動を考慮した
スライディングモード制御器の一設計法」
- ◆電気電子コース4年 新井 貴之
「EMIノイズ低減方式におけるリップル補正スイッチング電源の検討」
- ◆電気電子コース4年 久保 友助
「深層学習を用いた回路特性によるアナログフィルタ伝達関数の回帰分析」
- ◆電気電子コース4年 佐藤 菜月
「PAM-4シリアルリンク評価のための多値信号の生成と測定システム」
- ◆電気電子コース4年 町田 恒介
「三角関数演算を用いたアナログIC試験用低歪信号生成法」